

**ヨーロッパと東アジアにおける共通歴史の記述**  
**日仏会館 1 階ホール**  
**2007 年 10 月 20 日 (土) 12:30-17:00**  
**入場自由/日仏同時通訳付き**  
**共催：ドイツ文化センター (東京)、東京日仏学院**

共通歴史の記述にともなう問題は、ヨーロッパと東アジアでは異なる。日仏会館でのシンポジウムでは、仏独間の長きにわたる対話とその結果である共通教科書の成立プロセスを検討し、東アジアにおける展望と課題について議論する：東アジア地域における歴史および哲学対話の追求、日韓共通教材の作成の経験、それらの過程の地政学的な課題をめぐって討論がもたれる。

**12:30-12:45**

**開会挨拶**

フランソワーズ・サバン (日仏会館)  
アレクシ・ラメック (フランス大使館)  
ウヴェ・シュメルター (ドイツ文化センター (東京))

**12:45-13:35 — 第 1 セッション 「仏独共同歴史教科書」**

司会：クリストフ・ブノ (フランス大使館公使)

**12:45-13:05 — イヴ・ボヴォフ (フランス教育省、仏独共同教科書準備委員会メンバー) :**

「仏独共同歴史教科書作成の軌跡 (2003-2008)」

**13:05-13:25 — クリストフ・コルネリーセン (キール大学) :**

「仏独間対話の長期的視点から見た共通歴史教科書」

**13:25-13:35 — 討論**

**13:35-14:25 — 第 2 セッション 「東アジアとヨーロッパにおける対話と歴史認識」**

司会：ジモーネ・レシッヒ (ゲオルグ・エッカート国際教科書研究所) [予定]

**13:35-13:55 — 金泰昌 (公共哲学共働研究所) :** 「異文化間の歴史および哲学対話」

**13:55-14:15 — リオネル・バビッチ (日仏会館) :**

「東アジアにおける共通歴史認識の追求と仏独の経験」

**14:15-14:25 — 討論**

**14:25-14:45 — コーヒーブレイク**

**14:45-15:35 — 第 3 セッション 「日韓共通歴史を書く」**

司会：金泰昌 (公共哲学共働研究所)

**14:45-15:05 — 君島和彦 (東京学芸大学) :** 「日韓歴史対話と共通教材の作成」

**15:05-15:25 — 宮原武夫 (元千葉大学) :** 「日本と韓国・朝鮮の歴史を書く」

**15:25-15:35 — 討論**

**15:35-16:25 — 第 4 セッション 「東アジアに対する共通歴史認識？」**

司会：三浦信孝 (中央大学、日仏会館)

**15:35-15:55 — ヴァレリー・ニケ (フランス国際関係研究所) :**

「東アジアにおける共通歴史認識の外交的および地政学的背景」

**15:55-16:15 — アンドリュウ・ホルバート (ジャーナリスト、アジア財団) :**

「日韓間の歴史的相違の超克」

**16:15-16:25 — 討論**

**16:25-17:00 — 総合討論 (東京日仏学院およびドイツ文化センター (東京) での関連プログラムのパネリストも含む)**

\* 10 月 19・20 日にドイツ文化センター (東京) と東京日仏学院でも関連の催しがあります。詳細についてはそれぞれの HP をご覧下さい。東京日仏学院：<http://www.institut.jp/>  
ドイツ文化センター (東京)：<http://www.goethe.de/ins/jp/tok/jaindex.htm>